



# 横浜南地区

横浜立野 横浜清陵総合 横浜南陵 磯子工業/同(定) 横浜栄  
横浜国際 柏陽 金沢総合 磯子 氷取沢 釜利谷 永谷



## 平成25年度 横浜南地区大会

日時	平成25年9月28日(土) 13:00~16:15
会場	横浜市 栄公会堂
出席数	約210名
内容	<p>◆研究発表Ⅰ 横浜立野高等学校PTA 「未来の親との対話」 ～今 私たちにできること～</p> <p>◆研究発表Ⅱ 横浜栄高等学校PTA 「SAKAE 5周年記念 トイレリニューアルプロジェクト」</p> <p>◆講演 「思春期の子どもを持つ親の心構えと関わり方」 岩室 紳也 様 (ヘルスプロモーション研究センター長)</p>

◆研究発表Ⅰ 横浜立野高等学校PTA  
「未来の親との対話」～今 私たちにできること～

社会における規範意識を向上させるため家庭教育の充実が求められる中、生徒自身が親の役割や子育ての意義、親子の人間関係などに対し理解を深め、将来自分が親になった時をイメージできるよう、PTAとして何ができるのかを考え取り組みました。PTAは進学や就職を含め、子どもたち自身がどのような将来設計を描き、より良い未来に向かう力をどのようにつけていくのかを考える時、やはり家庭と学校が協力し環境を整えていかねばならないと考えました。また、私たち親の「姿勢」「言動」「振る舞い」こそが「未来の親のための教育になる」と実感しました。そのために親がより良い方向に変わるよう自身を見つめ直すこと、その努力こそが最大の家庭教育と考えます。



◆研究発表Ⅱ 横浜栄高等学校PTA

「SAKAE 5周年記念 トイレリニューアル プロジェクト」

5周年を迎える横浜栄高校のキーワードは「団体戦」

制服着用したPTA役員3人による寸劇が始まる。学校のトイレが汚い、臭い、暗くて入りにくい。きれいなトイレの学校もあることを聞いて「うちも、もっときれいになればいいのに」で終わる。

以前より保護者・生徒のアンケートでトイレに関する要望が多かったため、5周年記念を機にリニューアルし、環境改善を図った。

すでにリニューアルしていた他校3校を見学させていただき、それを参考にモデルトイレを作ってみた。

夏休み期間中、生徒、教員、保護者の有志140名により6か所のリニューアルを実施。

現在8か所のリニューアルが完成した。

生徒、教員、保護者が同じ目的を持ち、力を合わせ、団結力を高めることができた。



◆講演 「思春期の子どもを持つ親の心構えと関わり方」

岩室 紳也 様 (ヘルスプロモーション研究センター長)

インターネットは危険、学校へ行こう、エイズを予防しよう、思いやりの気持ちを持とう、自分を大切にしよう、挨拶をしよう、イジメをなくそう、等どれも大事だが全部は出来ないので出来るものを確認しよう。

一方で、保護者の思いは、子ども達のつまずき、失敗、傷、辛い状況から守ってあげたいと思う。若者はそれらの経験・体験をあまりしないから一人ひとりが弱くなる。

「エイズで死ぬよ」と言っても人の死を知らないことになる。いろんな人が語り、いろんな人につながる大切さが必要である。

HIV感染者・AIDS患者報告数ではエイズは着実に浸透している。

クラミジア（10万人当たり・年対罹患率）では、若年者で女性が多く感染しやすい。

今、HIVに感染するのは、セックス、輸血、刺青（TATTOO）、薬物の廻し打ちだけである。

コンドームを使っていたら、多くの人がエイズ・性感染症（STI）に感染せずにすむ。

日本では感染爆発が起きていない原因として、男達が恋愛できなくても困らない消極的な状況に陥っていることもある。

家庭内（夫婦、家族間）でのコミュニケーションをとり、家族一緒にテレビを見ることにより会話がはずむ。そして、親の後ろ姿を見て子供は育つ。

コミュニケーション能力を高めるために、会話・ラジオ・読み聞かせ・講演など耳から入る情報により、想像力を高めて生きる力を育てる必要がある。

